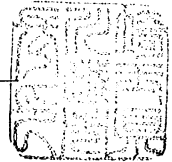


川道建収第 464号
平成20年10月27日

国土交通省道路局長 様

川越市長 舟橋 功



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたことについて、
別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

埼玉県川越市

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

- ・地方の自主性や裁量性の向上と道路整備(市道幹線・生活道路)を推進するため、新たな総合補助制度の創設や補助金申請等の事務の簡略化
- ・自治体が管理する橋梁の長寿命化及び整備の支援事業や安全・安心の確保に繋がる橋梁の耐震補強推進への支援
- ・「開かずの踏切」等に対し、連続立体交差事業等の抜本対策の実施

②-2 地域の目指すべき将来像

川越市総合計画において、将来都市像をひと、まち、未来、みんなでつくるいきいき川越と定めている。
将来都市像の実現のため、6つの分野別の基本目標が定められており、都市基盤整備においては、人と環境にやさしい、快適な基盤を備えて魅力あるまちを目標としている。

①道路交通体系の整備

- ・都市活動を支える広域幹線道路の整備促進
- ・地域の活動を豊かにする幹線道路の整備推進
- ・安全で人にやさしい生活道路の整備推進

②交通円滑化方策の推進

- ・交通需要マネジメントによる総合的な交通政策の推進
- ・駐車場の整備

③公共交通機関の充実

- ・鉄道輸送の利便性の向上
- ・バス輸送の充実

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ③
埼玉県川越市

○現状

古くからの町並みが保存されていることや高度成長期の急激な発展により、市街地の幹線道路網の整備が十分ではなく、交通渋滞を招いているとともに、安全・安心な歩行空間が少ない状況である。

主要国県市道幹線の需要増加により、市街地及びその周辺に交通渋滞が生じ、現在の都市計画道路を含む交通網では自動車交通を捌ききれない状況である。

首都圏中央連絡自動車道の整備進捗により自動車交通量の増大が見込まれ、広域的な交通ネットワークの構築が求められる状況である。

郊外では、安心・安全な市民生活に密着した生活道路整備と地域を連携する市幹線道路整備のさらなる推進が求められている状況である。

○課題

①都市構造の変化に対応した幹線道路網の整備

- ・環状機能の強化
- ・広域高速幹線道路との接続強化
- ・中心部や地域拠点相互の接続強化

②交通需要に対応した道路網の整備

- ・都市計画道路を中心とした幹線道路の整備推進
- ・中心部に集中する交通の分散化等による円滑な交通処理

③安全で安心な歩行者空間の確保

- ・高齢者や障がい者、児童生徒が安心して歩ける歩行者空間の確保
- ・災害時や避難路の確保や緊急車輛の円滑な活動の確保
- ・中心部における快適な歩行者空間の確保
- ・日常生活を支える身近な道路網の整備
- ・安心して歩ける生活道路の整備

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

埼玉県川越市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	川越駅南大塚線、市内循環線ほか 立門前線ほか(歴みち)	駅周辺地区へのアクセス性の向上と市街地の交通渋滞の緩和が期待される 伝統的建造物群保存地区及び周辺地区の道路整備を推進することにより市民や観光客の安全で快適な歩行者空間を確保でき、歴史・観光拠点のさらなる活性化が図られる。	
・都市交通の快適性、利便性の向上	坂戸東川越線・川越北環状線 寺尾大仙波線	都市間の連携やバイパス機能及び高速道路へのアクセス性の向上が図れる。 市内の中心市街地との連携や鉄道駅までのアクセス性が強化できる。	